

PRESS RELEASE

工学院大学
工学院大学附属中学校・高等学校



学校法人 工学院大学 総合企画部広報課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
TEL: 03-3340-1498 / FAX: 03-3340-1648
e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp

報道関係各位

2016年7月20日

「熊本地震・文化財ドクター派遣事業中間報告会」を工学院大学との共催で7月22日に開催 ―被災建造物を守り復興させる意義と、復興への提言―

7月22日、「2016年熊本地震・文化財ドクター派遣事業 中間報告会」が工学院大学(学長:佐藤 光史、所在地:東京都新宿区/八王子市)との共催で、開催されます。

2016年4月に発災した熊本地震によって、多くの文化財建造物も被災しました。そのため、文化庁は、熊本地震被災文化財建造物復旧支援事業(文化財ドクター派遣事業)に基づく被災状況調査を実施しています。このたびの報告会は、被災後3か月における被害状況の中間報告で、あわせて被災建造物を守り復興させることの説明と、国や県などの関連機関に向けた復興のための提言を発表します。

【「2016年熊本地震・文化財ドクター派遣事業 中間報告会」開催概要】

- ・テーマ:被災文化財の再生のために
- ・日時:2016年7月22日(金)17:00~20:00
- ・場所:工学院大学 新宿キャンパス 3階 アーバンテックホール
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 (JR 新宿駅下車 西口より徒歩5分)
- ・主催:熊本地震被災文化財建造物復旧支援委員会
公益社団法人 日本建築士会連合会(復旧支援委員会事務局)
- ・共催:工学院大学
- ・後援:一般社団法人 日本建築学会(予定)、公益社団法人 日本建築家協会
- ・参加費:無料

〈復旧委員会の会長を務める後藤治教授が提言を発表〉

報告会での趣旨説明および提言発表を、復旧委員会の後藤治会長(工学院大学建築学部建築デザイン学科教授)が担当します。後藤教授は、歴史的な建物を残す技術や制度の研究者で、日本建築学会の建築歴史・意匠委員会の委員長、日本建築士会連合会の全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会の運営委員長も務めています。

工学院大学では、防災減災に関する教育・研究に力を入れています。2011年の東日本大震災では、被災写真を復元する「あなたの思い出まもり隊」活動を、熊本地震では、被災地でのプライバシーを守るダンボールシェルターの開発・搬入を行い、復旧支援に協力しています。

〈取材に関するお問い合わせ〉

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課/担当:堀口・関根
TEL: 03-3340-1498 / e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp